



「コペンハーゲン・サクラ・フェスティバル」で 日本各地の魅力・文化を発信

(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所 所長補佐 佐々木 夏美 (福島県派遣)

コペンハーゲンの日本文化イベント

2024年4月20日から21日にかけて、デンマークのコペンハーゲンで日本文化イベント「コペンハーゲン・サクラ・フェスティバル (Copenhagen Sakura Festival)」が開催され、クエアロンドン事務所は2023年度に引き続き2度目のブース出展を実施しました。

このフェスティバルは、デンマークにゆかりのある日本企業が200本の桜をランゲリニー公園に寄贈したことをきっかけに、2008年からはじまりました。ランゲリニー公園はアンデルセン童話で有名な人魚姫の像から徒歩約8分の場所に位置しており、イベント当日は気温が10度以下となったものの、快晴の空に満開の桜が見頃を迎えていた会場には、たくさんの人々が訪れました。会場内には、けん玉体験ができるブースや寿司や餅などの日本食を扱う屋台などが見られました。また、会場中央に設置されたメインステージでは、合気道や剣道などの武道の実演や、和太鼓や大正琴などの演奏が行われ、多くの来場者がパフォーマンスを楽しんでいました。



多くの来場者でにぎわう会場の様子

日本各地の魅力・文化を発信

クエアロンドン事務所は、各地方自治体から募集したパンフレットを約700部用意し、ブース入口付近にて来場者に配布しました。環境意識の高いデンマークですが、ドイツやアイルランドと同じく紙媒体のパンフレットは大変好評でした。デジタルパンフレットをはじめとしたさまざまな情報がインターネットを通じて入手できる時代ですが、美しい自然の風景が掲載されたパンフレットや凝った紙質のパンフレットは、やはり来場者の目を引くようです。

また、当事務所のブースでは、日本文化体験の一つとして、来場者のお名前をひらがなとカタカナで筆書きする書道コーナー、チューリップや鶴などを折ってもらう折り紙体験コーナーを設けました。

どちらのコーナーも多くの来場者に立ち寄っていただきましたが、特に書道コーナーは終始行列ができるほど、大変な人気ぶりでした。書道コーナーに来てくださった人からは、「ひらがなとカタカナはどのように使い分けしているのか」「ひらがなとカタカナは日本が起源となっ



書道コーナーの様子



ている文字なのか」などの質問があるなど、多くの人々に関心を持っていただきました。

折り紙体験コーナーにおいても、幅広い年代の人々が立ち寄ってくれましたが、特にお子さんや10～20代の来場者が多く見受けられました。また、チューリップや鶴のほか、初心者にも折りやすい虎や蛇の折り方も紹介しましたが、全世代を通じて鶴が最も人気でした。来場者からは、「千羽鶴を知っている」「折りを込めて千羽鶴が折られると聞いたことがある」といった声がありました。日本人には馴染み深い折り鶴ですが、折り紙をほとんど折ったことのないデンマークの人々にとっては、少々難しかったようです。しかしながら、鶴を作り終える頃にはみなさん「ありがとう」と言って満足そうな様子でブースを去っていく姿が、印象的でした。



折り紙体験コーナーの様子

当事務所のブースに立ち寄ってくださった来場者のほとんどが、すでに日本に行ったことがある、もしくは近々日本に行く予定があるという人ばかりでした。既に日本に行ったことがあるという人からは、次は地方への観光を考えているため地方で楽しめるアクティビティなどがあれば知りたいといった声がありました。

また、観光だけでなく、日本のアニメや漫画、年配の人ですと歌謡曲に興味を持って訪日した人も見られました。会場ではコスプレをされている人も多く、改めて日本カルチャーの影響力を肌で感じました。

訪日旅行にかかるアンケート結果

当事務所のブースでは、各地方自治体のパンフレット配布や日本文化体験ブースのほか、訪日旅行についてのアンケートを実施しました。回答者は計199名で、年代は20代が最も多く81名と、全体の約4割を占めて

います。男女比については、女性が126名と圧倒的に多く、男性の1.7倍となりました。

アンケートでは、日本への関心事項のほか、訪日旅行時の予算および滞在期間について質問しました。日本への関心事項については、特に日本文化、自然、料理に関心を持つ方が多く見られました。昨年度、ロンドンで行われた日本文化イベント「ハイパージャパン (HYPER JAPAN)」でも同様の質問を来場者に行いましたが、今回のコペンハーゲンでの結果と大きな差はなく、日本への関心事項という点では、現時点でイギリスとデンマークとの違いはないように思われます。

訪日旅行時の1人あたりの予算では20～40万円未満と40～60万円未満が同率1位、滞在期間では2～3週間と回答した割合が最も高かったです。これらの結果から、訪日旅行時の1日あたりの予算は約0.9～4.3万円/人となります。東京都内におけるホテル宿泊代が、平均で0.9～1万円であるため、その費用を考慮すると、食事代や交通費を含めた観光先での予算は、最大で約3.3万円/人と予想されます。

おわりに

当事務所のブースは、先に述べたように各地方自治体のパンフレット配布、書道や折り紙などの日本文化体験コーナーなどを行い、すべて好評のうちに終えることができました。その一方で、たくさんの方が一斉に訪れると、来ていただいた全ての方々に対応するということが、ブース自体のスペースの問題でどうしても難しい場面もありました。この課題は、ブース内の机などのレイアウトや人員配置を改めて検討することで改善したいと考えています。このフェスティバルをはじめとして今後もさまざまなイベントに出展しますが、成果があったものは継承し、改善すべきものは今後の課題としてとらえ、より効果的に日本の地方自治体の魅力を発信できるよう努めてまいります。

なお、クレアロンドン事務所のウェブサイトには、より詳細にイベントの様子などが記載された報告書が掲載されています。ぜひ、記載のURLまたは二次元コードからアクセスしてご覧ください。

https://www.jlgc.org.uk/jp/economy_exchange/sakura-festival-2024/

